

ゲンビどこでも企画×ゲンビ「広島ブランド」デザイン スペシャル公募2020 募集情報公開

募集期間 2020年9月18日(金)～11月10日(火)
応募締切 11月10日(火) 必着

広島市現代美術館はこれまで、「ゲンビどこでも企画」「ゲンビ『広島ブランド』デザイン」というくふたつの公募展を通して、アーティストやデザイナーに発表の場を提供し、観客のみなさんと地元企業と共に、クリエイティブな才能を支援してきました。

今年度は、このくふたつの公募展をくひとつにし、ジャンル不問の「スペシャル公募」として実施します。

広島市現代美術館と特別審査員による書類審査を経て入選した応募者の提案・作品は2021年2月20日(土)～3月7日(日)の間、旧日本銀行広島支店にて展示されます。

広島から新たな才能を発掘・発信することを目指す本公募の周知にご協力いただければ幸いです。



美術館を軸に、アーティストと企業・観客・専門家をつなぐ、ゲンビの公募展

2007年から続く「ゲンビどこでも企画」は、美術館や公共建築を舞台に、展示空間の魅力を生かした作品を募集するものです。入選者の多くは現代美術の分野で活躍されています。

2016年にはじまった「ゲンビ『広島ブランド』デザイン」では、自由な発想で「広島」をブランディングするデザイン案を募集してきました。本公募を通じ、新たな「広島」のイメージが発掘・発信されています。

今回、このくふたつの公募展をくひとつにし、ジャンル不問の「スペシャル公募」として開催します。

広島市指定重要有形文化財・旧日本銀行広島支店が舞台

広島市現代美術館は2020年12月末より、改修工事に伴うリニューアル休館に入ります。

そのため今年度は、展示会場を「旧日本銀行広島支店」に移し、様々な建築的特徴を持つ、この歴史的な建築空間の魅力をいっそう引き出す作品や提案を公募します。

美術館×地元企業×観客の連携で、広島から、新たな才能の発掘・発信を

この公募展の特徴の一つに、広島企業、観客の皆さんと一緒に、アーティストやデザイナーの活動を地域で支援することにあります。今年も地元企業より様々なご支援をいただいている他、観客の皆さんの投票による観客賞も予定しています。毎年、合わせて約200件の応募をいただく人気の公募展。今年も、みなさんと共に盛り上げたいと思います！

募集概要 ※募集及び展示についての詳細は、添付のチラシと募集要項をご参照ください。

- 【募集期間】 2020年9月18日(金)～11月10日(火)
- 【応募方法】 募集要項を確認の上、専用の応募用紙に必要事項を記入し、添付資料とともに郵送してください。募集要項は「特設サイト」「郵送」もしくは「広島市現代美術館受付」で入手できます。
- 【特別審査員】 蔵屋美香(横浜美術館館長) 三分一博志(建築家) 中村政人(アーティスト、3331 Arts Chiyoda 統括ディレクター、東京藝術大学教授) 平野敬子(デザイナー、ビジョナー、コミュニケーションデザイン研究所所長)
- 【賞/賞金】 広島市現代美術館と特別審査員による審査を行い、8名/組程度の入選者を選出します。入選者には金一封(20万円)と協賛企業による副賞を授与します。入選者の中から特別審査員賞(4名/組)、観客賞(1名/組)を決定します。
- 【主催】 広島市現代美術館
- 【協賛】 オタフクソース株式会社/オリエンタルホテル広島/広島アンデルセン
- 【協力】 ゲストハウス akicafe inn/広島商工会議所青年部/ひろでん中国新聞旅行株式会社